

一般社団法人 愛媛県中小企業診断士協会
発行人：会長 山本 久美
編集：広報委員会

〒790-0003 松山市三番町4-8-7 第5越智会計ビル1F
TEL：089-961-1640 URL：http://shindan-ehime.com
E-mail：shinai@shindan-ehime.com

目次

◆会長挨拶（山本久美）	1
◆事業紹介：西条商工会議所セミナー動画制作（多田稔）	3
◆診断士の日イベント：次世代の中小企業診断士の姿と愛媛県中小企業診断士協会のあり方（濱田悠介）	4
◆会員研究会：愛媛大学教授講演「企業の評価と育成」（濱田悠介）	4
◆入会ご挨拶（山崎俊明）	5
◆入会ご挨拶（山中智雄）	6
◆入会ご挨拶（上岡誠司）	6
◆入会ご挨拶（折戸裕行）	7
◆入会ご挨拶（岡本悠己）	8
◆お知らせ（事務局）	8



会長挨拶

会長 山本 久美

■求められる成果物の品質

提案型で事業獲得を推進してきた結果、様々な方面から仕事を頂いております。どの相手先であっても仕事の質を高めることは重要ですが、特に県などの自治体、国立大学などの国の機関に対しては提出する報告書が評価の対象となり、そのレベルが問われます。

近年、協会本部では大学院のMBAコースなどへ入学することを推奨してお

り、支援も行われていますが、狙いの1つに研究論文を書く経験を積むことで、実務においても報告書の品質を高めるところがあります。

高い仕事のレベルが求められていることを意識して、会員の皆様にはスキル



アップを図っていただければと思います。要求レベルに応えることが相手先からの信頼を高め継続的、かつ発展的な事業提案に繋がります。

一方で、事務局運営の観点からも成果物の品質を高める必要性を感じております。協会事務局は事務所を間借りしており、運営のためのリソースを提供してもらって成り立っているのが現状です。

事務局では提出前の成果物をチェックして、修正指摘をしてもらっているのですが、協会を通じた仕事が増えるに伴って負荷が増大しております。その結果、残業が常態化してしまい働き方改革の点でも是正が急務となっております。

事務局での成果物チェックの負荷を下げるためにも皆様からの提出段階で品質を十分高めていただくようお願いいたします。

■愛媛大学との連携

愛媛大学へは、二次試験対応講座に続くステップとしてベンチャー支援のカリキュラムを提案しているところです。学部を問わず広く3年生が参加できる講義を予定しています。ベンチャー起業の入門としての講義ですが、診断士ならではの「現場の実際のところ」を話してもらいたいと大学側から求められております。

学生が社会の実際について、少しでもイメージを持っておいてもらうことで、就職でのミスマッチを減らす、またミスマッチしても乗り越えられる視座を身に着ける、あるいは、それならば自分で起業してやろうという意気を育てることができれば、若い力を無駄にすることなく社会に活かす、という貢献ができるのではないかと考えております。

ただし、大学の授業であるためアカデミックな側面も必要です。経験談を話すだけでなく実践と理論を結び付け論理立てて説明する力も求められます。私の方から声かけした方に提案をもらって

選抜しているところですが、いくつかのテーマで募集をかけることも考えていますので、ぜひチャレンジしてください。

■県への積極関与

県との関りも、より具体的な部分で深めていきたいと考えています。一般的に診断士と県との関わりとなると、経営支援や経済対策の部署が中心となりますが、現在、農林水産関係の部署、外郭団体のえひめ農林漁業振興機構(農業経営サポートセンター)との関わりを持つことができています。

今後は労働関係の部署との関わりを持ちたいと考えています。県庁第二別館が耐震化で建て直しを予定していますが、その際に労働関係部署が別の場所に移って4年後に新第二別館に戻る予定になっています。新第二別館ではネットワークなどのデジタル設備を強化した上でDX推進の構想が描かれていますので、事業提案の段階から関わり事業を作り込んでいきたいと考えております。

厳しいようですが、今の時代、待っているだけでは仕事は得られません。以前から申し上げている通り、事業提案を担う人材が求められていますので、そこを目指してステップアップしていただければと思います。

■一生涯使える資格へ

愛媛大学との連携、県との関り、そして企業との繋がり、そこに診断士協会も含めた4者の体制を築いて、若い人材の育成支援や一次産業を中心とする産業振興で愛媛県にお役立ちできればと考えております。

これは企業内診断士の方にとっても、チャンスであると捉えて積極的にご参加いただきたいところです。協会の取組に参画することで、提案した事業に対し成果を出す経験を積めるだけでなく、仕事が評価されれば人脈も広がります。

本業に対しても協会での経験を活か

して提案型の姿勢で臨み、外部とのネットワークから新たなビジネスを生み出す動きができれば、企業内でも中核を担う欠かせない人材として認められるのではないかと思います。

総会など重要性の高い集まりではリアルでご参加いただきたいという思い

もありますが、理事会や研修、研究会といった場合はオンラインで参加できるようにリモート体制を拡充していく予定です。様々な接点で情報・知識に触れていただき、それをきっかけにスキルを磨かれて、ぜひ、この診断士資格を生涯使えるものにしていってください。



事業紹介：西条商工会議所セミナー動画制作

多田 稔

西条商工会議所様からの案件で、事業計画作成をテーマに全5回+補足のセミナー動画制作を実施しました。動画はYouTubeに投稿して商工会議所会員向けにチラシやメール等で案内し限定公開されています。

■参加メンバー

窓口・まとめ役：多田稔

講師：

第1回：高野祐介

第2回：多田稔（補足回も担当）

第3回：小玉和史

第4回：青野晃平

第5回：白石秀一

動画作成・投稿支援：濱田悠介

■セミナー資料作成

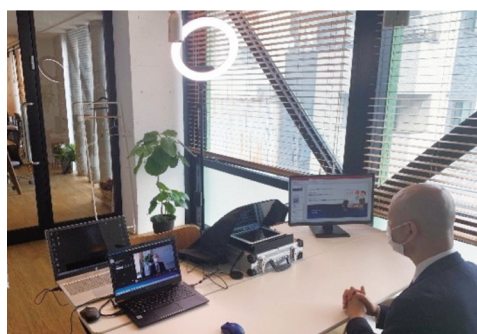
表紙スライドはフォーマットを統一し、内容の整合性を取るため資料共有しながら作成を進めました。動画時間が10分程度と短く、かつ視聴者の経営に対する知識も様々なので誰にでも分かりやすくという点を意識しながら要点を絞った内容で作成していきました。

■動画撮影、動画編集

撮影開始時にはマイクが拾う雑音が問題になりました。マイクを変えても改善せず最終的にはZoomを通して録音することで、Zoomが行うノイズキャンセ

リング処理を利用して音声品質を確保しました。

撮影においては、青野さんにご準備いただいたプロンプター（カメラの目線位置でテキストを表示してくれる装置）が大活躍しました。プロンプターを利用したおかげで、しゃべりで引っかかる部分もほぼ無く、概ね2テイク程度の撮影で済ませることができました。動画編集においても画面切り替わりの違和感を減らすなど、細かい点を調整するだけで済みました。



■投稿支援

西条商工会議所様ではYouTubeへの投稿が初めてということで、アカウントの作成方法から手順書を提供して操作案内を行いました。実際に投稿をする段階にあたっては訪問して担当の方と画

面を確認しながら投稿作業を進めていきました。

■反響など

西条商工会議所様は、以前から事業計画書作成の重要性や手順を伝えること

に難しさを感じていました。今回、動画配信というこれまでにない形でこの困りごとを解決できたことで、大変感謝されました。協会では、これからも事業者や支援機関の要望に、中小企業診断士のスキルと柔軟な発想で応えていきます。

診断士の日イベント：



次世代の中小企業診断士の姿と愛媛県中小企業診断士協会のあり方

濱田 悠介

11月6日、診断士の日イベントとして講演&パネルディスカッションを開催しました。テーマは「次世代の中小企業診断士の姿と愛媛県中小企業診断士協会のあり方」として、山本会長、一ノ宮副会長、独立診断士として溝淵、企業内診断士として濱田の4名の講演、続いて企業内診断士の山川を加えて、大西の司会進行の元でパネルディスカッションを行いました。参加人数は会場11名、オンライン参加8名でした。

講演ではそれぞれの立場から経験したことを踏まえて、これからの診断士と愛媛県協会のあり方を論じ、パネルディスカッションでさらに深掘りして意見交換を行いました。中小企業基盤整備機構、中小企業団体中央会、商工会議所な

どの団体職員の方にもご参加いただき、活発な質疑応答になったかと思えます。

事業環境が大きく様変わりして来ている現状において愛媛県にとって役立つ組織になることが求められていること、そのために個々の診断士のスキルアップはもとより協会運営のあり方にも変革が必要なこと、独立診断士と企業内診断士で、それぞれの視点や強みを活かしながら協会活動に参画することで、その発展に貢献するとともに自身の経験を高められること、といった論点が語られ、協会の将来像をイメージしながら個々のメンバーがどのような関わりを持っていくべきか、あらためて考えてみるきっかけになったのではないのでしょうか。



会員研究会：愛媛大学教授講演「企業の評価と育成」

濱田 悠介

12月14日に行われた会員研究会では、愛媛大学社会共創学部の崔英靖教授を招いて「企業の評価と育成」をテーマにご講演いただきました。

2002年に地元経済団体との経営品質賞に対する研究から始まり、松山市との取組で企業評価プログラムを作成、発展させた評価プログラムの作成と実証実験、バランス・スコアカードの考えを取

り入れ改良を行う過程について各段階のポイントを抑えながらご説明いただきました。

途中、改良のためにヒアリングした実務家からの意見では質問と業績との関連性、ロジックの組立がしっかりしている点で評価を受けた一方で、零細・小規模事業者での活用を鑑みた場合に質問項目が難しいという指摘もあったとの

こと。支援の現場でも相手のレベル感に合わせることは大切ですので、こうした意見に思わずうなずかれた方も多かったのではないかと思います。



卒論生の指導において、ローカルベンチマークとバランス・スコアカードを組

み合わせて事業性評価と改善取組に活用するくだりでは、「ローカルベンチマーク“だけ”で企業の収益力は向上するのか？」という学生への問いかけが印象的でした。目的達成のためにツールが真に役に立つかどうか、不足する部分があればどう補うかを問う姿勢の大切さをあらためて考えさせられました。

中小企業診断士は試験を通じベースとなる知識として経営理論やフレームワークを勉強しますが、いざ実践で活用しようとする「そのままの形では活用しづらい」ケースはあるかと思います。関係者からの感触を掴みながら現場に適合できる形で提案するという点で、崔教授の取組の過程や、研究に臨まれる姿勢はとても参考になると感じました。



入会ご挨拶

山崎 俊明

皆様、初めまして。令和3年5月に入会させていただきました山崎俊明と申します。

【私の経歴】

愛媛大学工学部を卒業後、井関農機に入社しました。井関農機では開発製造本部に属し、主に国内向け・海外向けのトラクタの商品開発設計や商品企画を担当しました。その間、海外の提携企業との打合せや市場調査で海外出張した経験も多いです。65歳で退職後、愛媛県中小企業団体中央会の「ものづくり支援室」のアドバイザーになり現在7年目です。診断士資格取得を契機に令和3年7月に「株式会社 オンリーワン経営コンサルティング」を設立し代表取締役をしております。

【診断士を取得した経緯】

診断士資格取得を思いついたのは、ものづくり支援室でアドバイザーをしていたからだと思えます。アドバイザーと

して300~400社の経営者や経営幹部の方と面談する機会も有ったことで、経営の勉強をキチンとやって中小企業のお役に立とうと考えるようになりました。そし



て68歳で挑戦を開始し、約3年半を要して合格を71歳の全国最年長で勝ち取りました。このことは令和3年2月12日の愛媛新聞にも大きく掲載されました。（記事は弊社ホームページでもご覧いただけます。）

【現在の仕事】

愛媛県中小企業団体中央会ものづくり支援室のアドバイザーをしながら、自社の経営コンサルティング活動をしております。今は特に事業再構築補助金の事業計画書作成支援に注力しております。

【得意分野紹介】

約 40 年のメーカーでの実務経験から、開発設計・製造・商品企画にも精通しております。私のようなキャリアを踏んだ製造系に強い中小企業診断士は四国にはほとんどいないのではっております。

【今後について】

中小企業の経営者と向かい合い寄り添いながら実効性のあるご支援を行っていきたくと思っております。

診断士協会所属の諸先輩方におかれましては、今後のご指導・ご鞭撻を宜しくお願い申し上げます。



入会ご挨拶

山中 智雄

はじめまして、2021 年 7 月に入会させていただきました、山中智雄と申します。宇和島市出身で、東京都内にて公認会計士業務及び税理士業務を行っていたのですが、拠点を宇和島市に移すことに伴い、入会させていただきました。現在は、税理士法人の社員として、宇和島市を中心として税務申告業務の他、税務上の特例を活用した事業承継等に取り組んでおります。また、松山市の監査法人に社員として参画し、有価証券報告書提出会社や学校法人などを対象とした監査業務も行っております。

私が中小企業診断士を目指した理由は、父も税理士かつ中小企業診断士であったということもありますが、税務業務等を通じて様々な中小企業に関与する上で、数値面だけではなく、経営についてより深く理解し、アドバイスできれば

と考えたからです。登録自体は 2017 年に東京都で行いましたが、関与していた企業が大企業中心ということもあり、診断士業務は当協会に加入してから本格的に行っております。入会后、主に農業関係の診断業務に携わらせていただいております。得意分野である財務や税務の知識や経験を活かしながら業務を行っていただければと考えておりますが、一方で農業経営に関する勉強不足も実感しております。主に南予地域になりますが、地域産業に少しでも貢献できるよう努力したいと思っておりますので、今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。



入会ご挨拶

上岡 誠司

令和 3 年 9 月に入会いたしました上岡誠司と申します。中小企業診断士としての登録は平成 30 年になります。一昨年来のコロナ禍で、私を育ててくれた中小企業が苦しむ姿を見て、ご恩返しの時だと思い、40 年勤めた政府系金融機関

を昨年 6 月に退職し、独立しました。

「Cool Head but Warm Heart」(冷静な頭脳と温かい心情)。これが私の信条です。



経営者に対し、経営課題の解決策や成長戦略を提示するのは当然の責務ですが、そこに経営者の声を心で聴き、悩みに寄り添う姿勢がなければ、真の解決には至らないと考えます。こんな話がありました。「探偵と名探偵はどう違うの?」という質問に対して、名探偵が次のように答えます。「事件を解決するのは、探偵の仕事。名探偵はただ事件を解決するのではなく、みんなが幸せになるように解決するのだ」と。私も経営者に伴走しながら、励まし、“みんなが幸せになるような形で経営課題を解決する”、そんな

名診断士になりたいと思います。

一期一会を大切にし、微力ながらふるさと愛媛の一隅を照らす存在になれるよう、政府系金融機関で培った「企業を診る眼」をベースに、力の限り経営者を支援して行く所存です。ですが、何分、診断士としては駆け出しでございますので、わからないことも多々あるかと思えます。先輩診断士の皆様方のご指導をいただきながら、精一杯頑張っていく所存ですので、どうぞよろしく願いいたします。



入会ご挨拶

折戸 裕行

皆さま、はじめまして。2021年12月に入会させていただきました、折戸裕行と申します。1977年生まれで今年44歳となります。東京都出身で、今治市の日本食研ホールディングスに勤めている企業内診断士です。同社に入社以来、営業、営業企画、経営企画、販売管理等の業務を経験し、現在は経理の業務を行っており、財務会計、管理会計の仕組みの見直しや2022年1月から施行された電子帳簿保存法への対応、インボイス制度への対応、国税調査対策などを行っております。

私が中小企業診断士を目指した理由は、同社の経営企画部門で業務をしたことがきっかけです。それまでは、中小企業診断士のことはまったく知らなかったのですが、当時の上司が経営企画部の業務に活かせる資格として紹介してくれ、実際にテキストの内容を業務に活かしたこともありました。所属当初は会社での勤務時間も長く、子供も小さかった

ため勉強時間がなかなか確保できませんでしたが、大阪へ単身赴任での転勤が決まったことがきっかけで、一人の時間ができたため、本格的に勉強をスタートさせ、取得することができました。



今後は研修会や協会を通しての活動に積極的に参加させていただき、経験を積んでいきたいと思えます。特に、食に関連する分野は突き詰めていきたいと思えます。活動を通じた様々な方との出会いを大切に、経営者に寄り添った診断活動ができるように努力してまいります。2003年に愛媛に転勤になり、すでに人生の半分近くを過ごしている愛媛県の中小企業に貢献できるよう、日々精進していきたいと思えます。ご指導、ご鞭撻の程よろしく願いいたします。



入会ご挨拶

岡本 悠己

初めまして、令和3年9月に入会させて頂きました岡本悠己（40歳）と申します。

【これまでの経歴】

出身は松山市になりますが、中学から寮生活をしながら鹿児島市にあるラ・サールという中学・高校を卒業し、その後東京大学の理科一類に入学しました。そこから理系でありながら司法試験に手を出してしまい、結局大学は中退し司法試験も不合格のままでした。

30歳の時に塾講師の正社員となり東証一部上場企業でも働いておりましたが方向転換し、34歳で松山市の大手税理士法人に入社し5年近く働いておりました。

39歳で診断士試験に受かり40歳で登録をして去年の10月に会社員を辞め、12月には松山市の市駅のすぐ近くにある事務所を借りてウェルビーイングという事務所を立ち上げました。

【診断士を目指した経緯】

会計事務所で6年近く働いてきた中で社長さんが苦勞しているのは税金の

事よりも売上であったり、人の確保であったり、資金繰りであったり、ということを感じてきました。また、自分の性格的にも戦略などを考えるのが昔から好きだったこともあり診断士を目指し、一次試験は科目合格を使い2回で受かり二次試験は1回で受かりました！



【今後について】

両親が経営する写楽堂という松山市で40年近く古書店を営業している会社があり、この会社で小規模事業者補助金を使ってホームページのリニューアル及びネット広告をし、売上を伸ばしているようにしております。ここでWebマーケティングを本格的に学びながら実践していきたいと思っております。



お知らせ

■令和4年度（前半）の行事予定

日 程	行 事 内 容
5月13日(金)	理事会 第5越智会計ビル
6月17日(金)	定時総会 第5越智会計ビル
8月27日(土)	理論政策更新研修 リジェール松山

■スキルアップ研修予定

日 程	テーマ（予定）
4月12日（火）	日本政策金融公庫の新型コロナウイルス感染症対策関連の融資制度
5月10日（火）	令和4年度の松山市における中小企業対策について
6月14日（火）	企業におけるDX導入方法について

会場：松山市男女共同参画推進センター
会議室3